1965
11月号
No.144
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

11月の人口と世帯
人口 7,563(＋3)
男 3,753(＋1)
女 3,810(＋2)
世帯数 1236(＋2)

第18回鮫川村文化祭

本村の文化祭も回をかさねること十八回になり、行事のマンネリ化で変りばえがしないともいわれますが、年々各団体の協賛行事が増加しいろどりも多彩になりました。

本年も十一月二十三日の勤労感謝の日を中心にして開かれることになり、主な行事は先にチラシでお知らせしましたが本紙では細部について会場ごとに招介します。

（カッコ内の数字は開催日です。）

各団体の協賛行事で多彩な催し

＝自動車シヨーも初登場＝

公民館

◎農協展（23・24）
取扱品の展示即売会（日用品、食用品等を豊富にとりそろえ特価販売します。）農業電気展（東北電力提供）農村電化ホームセット（ナショナル会社提供）

◎商工展（23・24）
商品展示即売会（新商品の紹介と特価品即売会を行ないます。）盆栽・盆石展（村内の愛好家から約七十点出品されます。）

◎活花展（23・24）

◎林産展（23・24）
苗木展示会……十点
木炭展示即売会……二十点
しいたけ展示即売会……五十点が出品されます。

◎特産展（23・24）
こんにやく展示会……三十点
葉たばこ展示会……二十点
養蚕展示会……二十点
共済事業のあらまし（図表による展示）

◎自衛隊映画会（23・24）
高校の一教室を利用して午前九時より午後三時まで上映いたします。

◎美容教室（23・24）
資生堂美容相談部の協力により開かれます。美しくなりたい方は是非お出で下さい。

◎交通安全展（23・24）

高校分校

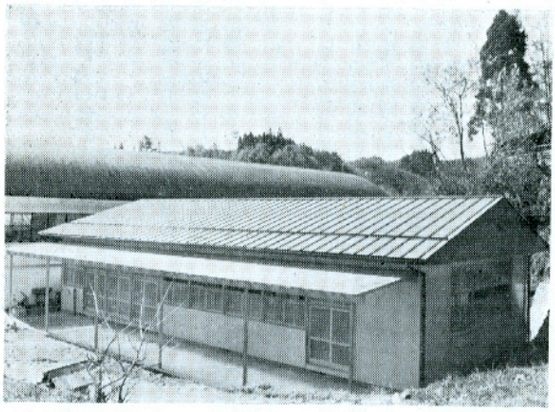
日本間に三十点展示

◎高校生作品展（23・24）
鮫高生の衣食住と学芸、手芸作品九十二点が展示されます。

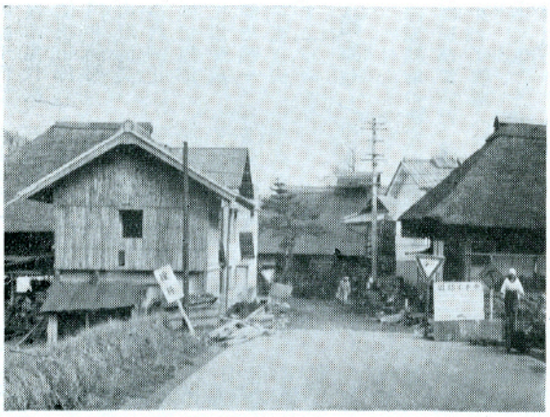
青年研修所

◎生活改善展（23・24）
生活改善推進員、婦人会役員、農協婦人部役員の協力により衣料三十点、食品三十点が展示されます。

◎健康相談室（23・24）
塙厚生病院長、菅野博士が相談にあたります。診察は無料ですので気がるにお出で下さい。



去年は渡瀬中の特別教室ができましたが、今年は鮫川中の技術室が完成しました。前に15坪のテラスもついて66坪、明るい近代的建築です。



新宿地内の舗装工事は、ここ数年続いていますが今年は小滝さん前から、橋本屋さん前まで進められます。工事中は皆さんへの御協力をおねがいします。

10kmマラソン大会（23）

本年始めての試みで役場前を出発し富田字二反田地内の折返しコースで行なわれます。

参加資格は村内居住者で一般（青壮年）と高校生に限ります。

入賞は一般、高校の部とも六位までで完走者全員に敢闘賞を差し上げます。

参加希望者は役場内の文化祭事務局に申しこんで下さい。

中野公民館

◎電話加入者の会（17）
区内加入者一二八名が集り電話交換の実態を見学し、効果的な電話利用について話し合います。

◎簡保団体代表者の会（20）
簡易保険団体払込制度の利用と、より良い運営をはかるために代表者三十二名が参加して話し合いの会をもちます。

クレー射撃大会（23）
中野字巡ヶ作地内で猟友会員五十名が参加して行なわれます。

親善野球大会（23）

村民運動場にて本村と西白河郡東村の養蚕中堅青年の試合を行ないます。

鮫川中学校

◎児童・生徒作品展（23・24）
村内の小中学校生徒が製作した図画・習字・工作品など九百点が展示されます。

鮫中屋内運動場

◎お嫁さんに感謝する会（23）
三十五才までのお嫁さん方四百九十人を招待し、日ごろの労苦を感謝し音楽と歌舞踊、手品などのレクリエーションを楽しんで頂く会です。

◎音楽と歌の会（23）
お嫁さんの会終了後の午後一時から「川村ひろしとアロハアイランダース」一行のバンドと、佐々木照子さんほか一名の歌手、若草劇団一行の舞踊、吉村覗水氏の手品の会を開きます。入場料は頂きませんのでご家族そろってお出で下さい。

◎お母さんをたたえる会（24）
三十六才から六十五才以下のお母さん方一、一六四人を招待して、日本民謡会郡山支部のメンバーによる民謡と、若草劇団の舞踊、吉村氏の手品などで一日を楽しんで頂くとともに、主婦として家事に育児に苦心されているお母さんをたたえる会です。

（二面につづく）

すみましたか

農地報償の申請手続

農地改革で農地を買収されたものに対して、国が給付金を支給することになり、村では、九月八日から受付を開始して現在まで九二件を受理いたしました。まだ手続の済んでいない方は次のことに注意されて早く申請して下さい。

◎買収されたが買収令書がない方は農業委員会に照会すること。

◎遺族請求の場合には同順位有の同意が必要ですが、同意しないと言っても各人各人で請求することはできないので、話合って同意をとるようにすること。

◎寺名儀で買収されたものの請求は代表役員が、法人登記簿謄本を添付してすること。

◎十名以上の共有地を買収されたものは共有地の総会の議を経て決定された代表者が、総会議事録を添付して請求すること。

農地被買収者給付金請求書の申請状況は（十一月四日現在）次のとおりとなっております。

大字名	申請済	未申請
西野	二三	一七
西山	一〇	一七
中野	七	三
東野	一〇	一〇

富田　一四　七
渡瀬　一六　六
（渡瀬には青生野を含む）
村外買収　一三
計　九三　六〇
（農業委員会）

土地改良区の総代決まる

十一月十四日任期満了による鮫川村土地改良区総代選挙は、去る十月二十四日に告示されましたが、立候補〆切日の十一月三日までに三十名の立候補届があり、その数は定数の三十名を越えなかったため、無投票により次の方々が新しい総代として選任されました。

生田目忠之助　生田目長治
阿久津公翁　須藤　勇
矢吹啓松　我妻嘉市
前田　弘　芳賀　一
鈴木幸栄　松本栄一
佐藤千代治　小山田忠一
根本亀代次　石井光男
関根市郎　舟木福保
円井利男　関根　仁
白坂清美　緑川末治
金沢関正　青戸敏哉
蛭田道郎　舟木嘉一
市川愛蔵　平久江四郎
蛭田義一　芳賀　登
新妻貞夫　芳賀正昭

給食センター着工

国庫補助の決定が遅れたために延びていた、学校給食センターは敷地（鮫小の東側で校長室裏）も決定し、着工の運びになりました。

今年の給食対象校は西野、西山小（既設）を除く八校一、一四七人の児童生徒教職員で、このセンターが完成すれば全村の学童が給食の恩恵を受けることになります。

食優先の県の方針と必ずしも一致しないということで、県段階では一応不採択ということになっていました。

それを中央で国会議員の方の御助力をいただきながら、文部省にお願いし、県の方も御厚意を得て実施にこぎつけることになりました。

給食センターは現地でも敷地や道路で困難を重ねましたが、幸にも地主やＰＴＡの御協力があり、着工の運びに至つたことはよろこびにたえません。

特に用地交換の要請を快諾された鈴木市夫氏、道路敷一〇〇坪程の耕地を無償提供された鈴木市治氏の篤志、また小松徳之助氏、鈴木英男氏、中川西正司氏の御厚意には深く謝意を表します。

農業構造改善事業の計画の中で作られる畜産センターは家畜管理所の構内に着工され臨時たばこ収納所も改装充実されることになります。

鮫中の技術教室は既に完成し、理科室、校長室、資料室相談室なども整備され、面目を一新しました。

県営で行われるものでは、主要地方道勿来棚倉線の公共改良工事、公共治山事業も工事が進行中です。

県単関係では、新宿地内県道の舗装が進み、塩倉、落合岩野草、関口の林道各線が工事中で、関口線は今年で田尻―関口間が開通することになります。

林道は新しく大石草線の着工が見込まれ、一町村内に五線の林道施工は県下で初めてのケースとなりました。

昭和四十年度建設事業

村長　石田卯子八

今年予定された村の建設事業は産業、教育、交通などの各分野で、相当の数に及んでいましたが、国庫補助を期待するものが多く、それが一時国の予算一〇％留保の大蔵省の方針におさえられ、実施をあやぶまれるものが出てきました。

これは国の財政の中で、景気の退潮とともに税収入の減退があらわれ、歳入欠陥を見込まなければならない事情に立至つたからです。

しかしその後、国は景気の回復のためにも、公債を発行するとも予算執行の方針をとることにしたので、ひとまず愁眉をひらくことができたわけです。

村の建設事業の中で、青生野小学校の危険校舎改築と、学校給食センターの建設は最後まで難航しました。

青生野小の場合は、小規模校で計画がおそく出た関係があり、給食センターは僻地給

南会津の下郷町を視察して

林業の構造改善事業

このほど森林組合の役職員と村の蛭田技師、林業事務所の佐藤技師一行十四名が十一月五、六、七日の三日間にわたり南会津郡下郷町の林業構造改善事業を視察してきました。

この町は昭和三十年に一町二ケ村が合併して発足し、戸数二、四七五戸、人口一三、四六九人、三一八・四二平方キロの広大な面積を有し、大部分が山地で中央には大川ラインが貫流して見る人の目を楽しませます。

気温の高低は甚だしく冬は一米以上の積雪をみるそうです。産業は農業が主で三十八年度より農業構造改善事業を始め肉牛、養蚕を基幹作目として草地造成、桑園、農道等の事業が四十一年度に完成するとのことでした。

林野面積が全体の八七・五％を占め、耕地はわずか一二・五％に過ぎず、非常に零細農家が多いようです。林構改事業の構想としては都市化することは考えられないので、農山村の基本にたち経営と生産基盤の充実、資本装備の高度化、早期育成林業経営の促進協業体の促進事業等を計画しているとのことでした。

農構改事業の実施地区は町の一方部にかたよっているので林構改事業は開発の遅れた方部を実施地区に指定したそうです。指定を受けたのが三十九年度で七、七〇〇万円の事業費で、第一年度に林道の開設と林業機械の設備を行ないました。問題は事業の希望があつても国の審査で削減され、もれた地域の開発の進め方であるとのことでした。

森林組合　鷲野谷勝男

納税だより

自主納税推進運動

十一月は、村と県が協力して各種の未納になっている村税を自主的に完納していただくため「自主納税推進運動」を展開しております。

十一月は農産物代金等が入る時期でもありますから未納になっている方はすぐ納めて下さるようお願いします。

なお、この運動終了後に納める場合は延滞金を加算して納めていただくことになりますので御了承下さい。

（一面よりつづく）

各会場の催し

◎鮫川百景の会（23・24）
長途寺で開かれるこの会は鈴木春詩画伯が郷土の姿を百景に描き長く後世に残そうとする会で、本年は第一回領布分として三十点余が展示され、二十四日午後からは百景の会会員の総会が開かれます。

◎自動車ショー
当日はメーカーと県経済連の係員が相談所で、自動車のことなら何でも相談に応じます。
鮫小校庭で二十四日に国産メーカー八社の新車二十余台が展示されます。

◎花嫁衣裳展示会（23・24）
中野ゆざ理容店二階で郡山市の貸衣裳専門店の、新しい衣裳二十数点が展示されます。

◎農機具展示会（23・24）
東野字広畑の農協農機具サービスセンターで、新しい農機具二十点余が展示されます。

議会だより

地方自治の広場 (1)

＝議会の本分＝

「地方自治」ということは、戦前にもいわれていたがその内容については現在と相当なへだたりがあり、戦前においては、地方自治とはいっても中央集権が強く、自治性とか、自律性という点では自治の名にほど遠いものでありました。ですから当時は名誉職的な観念が強く、議会活動の自主性が失われておりました。

戦後における、地方自治は自主財源の賦与、固有事務の拡大等、国との関係でも思い切った地方分権が行われ、地方公共団体及び議会の権限が大幅に強められ、とくに市町村は、基礎的地方公共団体として、地方自治の中核的地位が与えられました。

このような、新しい地方自治制度を議会の立場から考えるなら、地方自治とは、即ち住民自治であり、法の精神においては、首長の執行権と議会の審議権の上に、その地方自治の運命が託されており、その町村の発展、繁栄も、大半は議会活動のいかんにかかっているといえましょう。

しかしながら、地方自治制度（自治法）において、議会活動の上に一つの制約が加えられております。内閣総理大臣は、国会議員の中から指名すると定められており、国会に強い権限を与えられておりますが、町村の場合はそれと異なり、町村長も議員も、ともに住民が直接選挙で選出し町村の自治権をこの二つの機関に分け与え、首町と議会を対立させながら、力のバランスがとれるように仕組まれております。

つまり、もともと住民がもっている自治権のうち、町村の意思を審議決定することは議会に、それを執行することを町村長にと、それぞれ分担され、その間を互に批判し合い、たゞし合って調和のあるしかもゆきすぎや、独善のないような、妥当な政治の運びをするようになっています。

このような制約的制度を、「抑制均衡制」といっております。

この制度のなかで、議会のおかれている立場をよく考え互に権限と責任を尊重し合いその職分をまもり、他の権限を侵すことなく、うまく運営することこそ、地方自治発展の「カギ」であるといっても過言でないと思います。

地方公共団体の長も議会もつねに寛容と協調の精神でのぞみ、同時に批判し、質し合うことを忘れず、その抑制均衡の両翼にある両者を巧みに保ち合うことこそ、その町村発展の上に必要欠くべからざる要因であり、本分であろうかと思います。

（次号につづく）

暑かった夏も過ぎ、秋になり寒い冬がやってくるころになると火災は急増し、新聞やテレビ、ラジオをにぎわすようになってきます。

昨年の本県の火災発生状況をみると、九七八件で約一四億円の損害をだしています。このうち十一月から四月までがとくに多く発生し、年間火災の約六六パーセントを占めています。

火災が増加する理由としては、だんだん寒い季節になると一般家庭はもちろん、県内のいたるところでストーブとか、こたつなど火を使用する機会が多くなるからです。また火を使用する時間も急増するため、このように火災が多発するものと思われます。またこの時期は季節風が吹き、空気が非常に乾燥するために普通ならば、放っておいても消えるはずの小さな火が消えず火災になることが多いのです。このように増加する火災の原因には一体どんなものがあるでしょうか。おもなものを次の表にとりあげてみましたが、毎年のように同じような原因がトップグループを占めています。

お互いに注意しよう
火災が多くなる季節

原因	件数	比率
子どもの火遊び	一六七件	一七%
こたつ	六四	六
こんろ	六四	六
たばこ	六二	六
たき火	四九	五
ストーブ	四七	五

・火災原因中、子どもの火遊びによる火災がトップで、しかも年々増加しているので幼児のいる家庭では、マッチ、ライターの置場にじゅうぶん注意するようにしましょう。

・おとなのタバコの不始末による火災が毎年多い（本県では第四位、全国では第一位）ので、寝タバコや歩きながらのタバコはやめ、必らず吸ガラ入れのある場所で吸うようにし、吸ガラ「マッチのもえさし」は吸ガラ入れに入れるような習慣をつけましょう。

・「コンロ」「ストーブ」の火災には、最近非常に需要が増加した「石油コンロ」「石油ストーブ」による火災が多く含まれていますので、次のことがらについて注意しましょう。

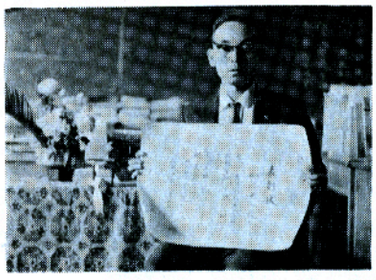
1 不良な器具はよく修繕して使用すること。
2 正しい取り扱いによくなれること。
3 給油するときは、必ず消してから給油し、こぼれた油はよくふきとること。
4 移動させるときは必ず消してから移動させること。
5 灯油とガソリンを間違いないようにすること。

このように火災の原因は、いずれも日常生活上身近なものが大部分であつて、ちよつとした不注意から多くおこつていますので、県民のひとりひとりがおたがいに注意してたいせつな生命、財産をあの恐しい火災からまもりましょう。

永年勤続で表彰

十一月三日の文化の日に福島市県営体育館で開かれた教育功労者の表彰式で、本村の渡瀬小中学校長、大野祐喜先生が三十五年、東白川農商高校鮫川分校の和田健二先生が三十年にわたり教育界に尽された功績で表彰されました。

写真は表彰状と銀盃を受けた和田先生



駅伝で四位

東白川農商高校と郡中体連の共催で十一月三日に開かれた、駅伝競走（棚倉―東舘間）には郡内の中学校より十校が参加し、本村から参加した鮫中チームは四位でした。

▶ 今月の納税 ◀

固定資産税第3期分です
納期限11月25日です

今年から固定資産税第3期分の納期は11月になりました。

◎ おくれず、わすれず納期内完納に御協力下さい。

十一月の健康

冬を快適に過すためには、まず寒さに耐える体力をつくることです。

このごろやたらと栄養剤を飲む傾向がありますが、普通の体では薬よりも、バランスのとれた食事を十分にとることがたいせつです。そこでバランスのとれた食事とは

①油 成人では毎日大さじで二～三ばい（三十～四十グラム）は、ぜひとりたいものです。それもできるだけ生のままの油が効果的です。それには酢油にして野菜を食べるのが最高でしょう。

②有色野菜 にんじんはカロチンを多量に含んでいますし、その他の色のついている野菜を、できるだけ生のままバリバリ食べることです。

③ 牛乳とたまごはとくに優秀食品です。でんぷん質はカロリー化するためにB1が必要ですからごはん類は少なめにパンやめん類を食べることです。また重労働をする人たちは、その量をふやすことはもちろんです。

新しい歯ブラッシ

新しい歯ブラシを買ったら使うまえに、いちど熱湯につけておきます。そしてそのままさめるまで放つておき、さめたらとり出してよくかわかしてから使いますと、消毒にもなりますし、もちが良くなります。

ペンキのしみ

ペンキのしみが衣類についたら、中性洗剤をぬるま湯にといで、スポンジでよく洗いおとすようにすればとれます。

ひどくよごれたら白灯油を布にしませてこすり、そのあとぬるま油で洗えばきれいになります。

晩秋初冬

斗暁

生きている瓶の蝮の無抵抗
生活に疲れ虫の夜妻と疲れ

靴抜くや出て来し籾の琥珀色
冬ざれの日のわたるなり牧を

稲ぼこり妻とたゝきて夜業終ふ
閉ず

夜業終ふ北斗ににじり寄られけり
尾根やせて骨ばかりなる馬柵つづく

保有米少なき苦情妻の米
農日記妻が熟柿につきし嶋

朝々の倉見えて来る柿落葉
風かわき夜々床下に落葉溜め

声かけて裸木に透るボールの朱

× × ×

告知版

41年成人者のお知らせ

明年の一月十五日に行なわれる成人式の該当者は、昭和二十年四月二日より二十一年四月一日までに生まれた次の方々です。これは住民登録票により調整したものですが洩れている方がありましたら、公民館事務局にお知らせ下さい。村内出身者で本村で成人式を行ないたい方は十二月二十日までに申しこんで下さい。式の通知は年賀ハガキで個人ごとに発送します。

大字赤坂西野
高坂八重子、舟木良子
大字西山
本郷幸子、阿久津清子
阿久津貞江、芳賀次枝
松崎イネ子、水野ハツエ、関根ハルノ、関根清次、大竹敏
大字赤坂中野
斉藤寛一、鈴木八重子、金沢まつ江
大字赤坂東野
萩原イツ子、鈴木豊年、瀬谷民子、森米子、蛭田ヨシ子、宗田豊、前田洋子、前田信子
佐藤サクヨ、中川西常雄、中川西寿枝、金沢肇、田子ミチ子、高杉タカ子
大字富田
円谷次男、生田目ハツヨ、岡部スイ子、須藤メ子
大字渡瀬
蛭田信子、蛭田重経、蛭田好子、赤坂シモ子、国井二郎
大字青生野
本多武、岡部スイ子、加藤憲治

成人の日を迎えて 感想文募集

終戦の年に生れ物質欠乏のなかで成長された成人者の皆さんから感想文を募集します。内容はどんなことでも結構です。400字詰原稿用紙3枚以内にまとめて、41年1月10日までに公民館事務局に送つて下さい。応募者全員に記念品を差し上げます。

鮫川チーム優勝

東白川郡青連主催による第一回青年野球大会は十一月七日に、棚倉町の城跡、棚中グランドで五チームが参加して開かれました。本村からは二チームが参加し熱戦のすえに優勝、準優勝をかちとりました。成績は次のとおりです。

鮫川A3——3塙片貝
延長九回抽せんで鮫川A
西山3——0塙東河内
鮫川A7——2棚倉
決勝戦
鮫川A——西山
日没により優勝を分ける

生徒募集

東白川農商高校鮫川分校では季節課程を下記により開設します。希望者は十一月末日までに同校に申しこんで下さい。

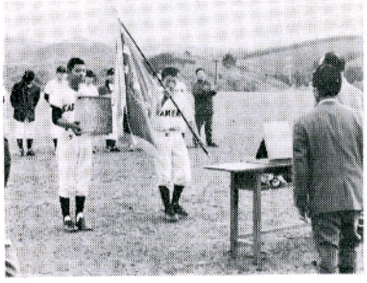
記

一、期間…四十年十二月一日より四十一年三月三十一日まで。
二、内容…和裁・生花
三、経費…月三百円ていど
四、開設場所
西山分室（西山公民館）
中野分室（高校分校）
五、その他細部については同校に問いあわせ下さい。

第二回野球大会

文化祭行事のいつかんとして、十月二十三、二十四日の二日間にわたり八チームが参加して、村民運動場で開かれました。決勝戦は鮫高と役場チームで争われたが若さにあふれる鮫高チームが、昨年秋の大会につづいて二度目の優勝をとげました。各チームの成績は次のとおりです。

一回戦
役場10——2富田
鮫高3——1西野
中野2——7A西山
教員5——8A東石
準決勝戦
役場2——1西山
東石6——7A鮫高
決勝戦
役場0——7A鮫高
（優勝旗をうける鮫高生）



交通ルール

二人のりいはん スピードいはん

できるならば子どもを叱つて育てたくない。そのために学校でも家庭でも頭をしぼる。親ともなればなおさらである。

今日の交通戦争のさなか、私ども職員で相談してやつてみていること、こんなことを家庭でも合言葉にして頂ければと思い、参考までに一つ二つ、叱らないで、しかも子どもが言いやすく、守りやすく行ないやすい工夫。

①スピードいはん…廊下や家の中をわけもなく走つたらいはん。

②駐車いはん…廊下や狭い台所でたちどまつての長話いはん。

②追いこしいはん…人のいる前をわざとつつ切つたり無理に割りいつたらいはん。

④クラクション鳴らせ…職員室やよその家へ入るときはノックでも良いが「ごめん下さい」、家へ入るときは「ただいま」の合図。

⑤徐行…かいだんの曲りかど土間から座敷へとびあがるときはゆつくりと。

その他いろいろあると思う「ホラ、ホラ○○いはんだよ」と言われれば「やあ失敗罰金かな」と気がつく。本当に罰金はとらないまでも、自分の心を自分で罰するのでなかろうか。

私どもはなんとかして子どもを叱らないで育てたいものである。

西野小学校長　古川一郎

◉現金書留郵便物の差出方法が一部かわります。

十一月一日から現金書留郵便物の差出方法が改められ、現金書留封筒も一部変更されることになりました。

新しい現金書留封筒は、封筒裏面に、はりつけられていたこれまでの現金書留郵便物配達証」が「現金書留郵便物書留票」に変わつたものです。

「書留票」は現在使用されている小包書留票と同じ内容のものとなります。

このため現金書留を出されるときはこの書留票に受取人の住所氏名のほかに出される方の住所、氏名も記入していただくことになります。

お手数をおかけしますが、これは郵便局の窓口業務の、ふくそうを緩和して、全体的な業務の改善を、はかつていくことを目的としておりますので、利用者のみなさんのご協力をお願いいたします。

◉年賀状の差し出し準備をしましょう!!

年賀状を書く時期が近づきましたが、せつかくの年賀状が、あて名不完全のため迷子になつたり、おくれたりすることのないよう次の点に注意して、早めに準備しておき、おそくとも**十二月二十日**までには差し出せるようにして下さい。

イ　住居表示制度の実施によつて、住所が変更になつているところが多いので、今年中に変更通知のあつたものは一般の転居通知とあわせて、忘れずに名簿を訂正しておくこと。

ロ　年賀状を印刷したり、版画などで出すかたは、早めに手配しておくこと。

ハ　転居されたかたは、旧住所の受持郵便局へ転居届を必ず出しておくこと。

◉差し出しはなるべく午前中に願います。

郵便の差し出しは夕方に集中する傾向が強く、このため局内の時間別処理量が大きくかたより、郵便物のスムーズな流れをはばむ原因となつています。

そこで、大口の郵便物はもちろん、一般のかたも、なるべく窓口や局内のすいている午前中に差し出すようお願いします。

☆　☆　☆

鮫川郵便局提供

おめでた

十月

広畑　藤田　里香（隆千代）
西ノ内　関根　利雄（　隆　）
前田　前田　純子（重　男）

おくやみ

十月

新宿　杉山　テイ56（忠　男）
青生野　藤田　キク76（勘次郎）
摺合　芳賀　ミツ58（理　男）
大竹　岡部利之助70（　豊　）
蕨ノ草　鈴木　二郎0（作　衛）
蕨ノ草　鈴木　二郎（作　衛）
新宿　前田　孝次（吉之助）
官沢　矢吹　晴子（豊　治）

あとがき

今月号は文化祭特集号みたいな形になりましたが、話題（公的な）の少ない本村の現況では、編集子も種（ネタ）を集めるのに四苦八苦の状態で苦労しています。

どんなことでも結構です、「知らせたい」「知つてもらいたい」ことを、編集部（公民館、鈴木）までお知らせ下さい。

◆　◆　◆